



筆談資料から 見た言文一致

国語施策における 日本の中国への影響

ワークショップ

1 「「談草」と「斯文」——東アジアにおける筆談文献の文体をめぐって」

王勇 中国浙江大学日本文化研究所所長・教授

2 「筆談で見る明治前期の日中文化交流」

劉雨珍 中国南開大学外国語学院副院長・教授

日時 二〇一七年七月一三日 **木** 一七—一九時三〇分

場所 東京大学駒場キャンパス一八号館四階コラボレーションルーム四

言語 日本語（通訳なし）

主催 科学研究費基盤A「明治日本の言文一致・国語施策と中国をはじめとする漢字圏諸国への波及についての研究」 共催 UICP（東京大学大学院総合文化研究科附属共生のための国際哲学センター）

画像出典 大河内輝彦著「さねとうけいしゅう編纂『天河内文書』（東洋文庫一八）平凡社、一九六四年」